



 株式会社 東洋製作所
証券コード 6443

第 **70** 期

上半期株主通信

平成20年4月1日～平成20年9月30日

東洋製作所は、人に、
そして地球に、
優しい風をつむぎ出す
冷熱・環境エンジニアリングの
リーディングカンパニーです。



トップメッセージ ≫ 01

部門別事業の概況 ≫ 03

NEWS! ≫ 07

東洋製作所の技術で楽しむ ≫ 08

連結財務諸表(要旨) ≫ 09

単体財務諸表(要旨)／会社の概要・株式の概況 ≫ 10

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社グループ事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに第70期上半期（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における事業の取り組みおよび成果につき、ご報告をお届けいたします。ご一読いただければ幸いに存じます。

平成20年12月

代表取締役社長 服部 豊

Q 上半期の営業状況と業績についてお聞かせください。

景気の悪化による厳しい事業環境下で、採算重視営業およびコストダウン・生産性向上施策が奏功。

この上半期は、昨年から続いた原油・原材料価格の高騰や、現在も進行中の世界的金融不安による影響を受け、景気の悪化傾向が拡大した半年間でした。当社グループ事業に関連する建設業界や冷凍・空調設備業界も例外なく、投資の抑制・減退に見舞われています。

私たちは現在、省エネ・環境保全に関する技術的な強みが発揮できる分野を中心に、積極的な営業展開を進めていますが、こうした事業環境の厳しさの中で、設備投資の下半期への延期が発生したことなどから、当上半期の連結売上高は8,829百万円（前年同期比8.4%減）と減収を余儀なくされました。

一方、損益面については、受注物件の引渡・売上が年度末に集中する傾向により、上半期は損失計上となるものの、今回は連結経常損失が55百万円（前年同期は144百万円の損失）となり、改善を果たしました。これは、前期から導入したカンパニー制度の浸透や、営業活動における採算重視方針、標準化・共通化の推進によるコストダウンおよび生産性向上などが寄与したものです。

Q 現在、どのような経営上のテーマに注力していますか？

技術力を発揮できる環境保全・省エネ関連分野に経営資源を集中し、新製品開発とコストダウンを追求。

私たちは、冷凍食品の製造プラント・装置や自動車メーカー向けの環境試験装置などを手掛けるエンジニアリング事業と、ビルや工場内の空調機器・サービスなどを手掛ける機器事業の2つを展開しています。いずれも常に技術革新を求められる厳しい競争状況に置かれていますが、自然冷媒を使った脱フロン冷却設備の開発など、私たちが有する環境保全・省エネ関連の技術力は、業界トップレベルにあると自負しています。

この技術力における強みをさらに発揮するべく、環境保全・省エネ関連の製品・市場分野に経営資源を集中し、製品開発とコストダウンの追求によって競争力を高めていくことが、私たちの重要なテーマとなっています。そのために現在、カンパニー制のもとで事業責任の明確化を図り、収益拡大と黒字体質の確保・定着を目指して、事業体質の抜本的な改革に取り組んでいるところです。

それと同時に、将来の成長発展に向けて事業のグローバル化に着手し、特にエンジニアリング事業の中国・東南アジアにおける展開を進めています。

Q 下半期の見通しと取り組みについてお聞かせください。

厳しい事業環境が続いていく中で、コストダウンおよび生産性向上施策をさらに推進していきます。

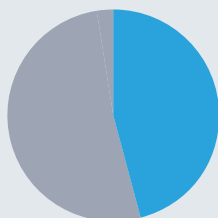
冒頭に申し上げた景気の悪化傾向は、今後も多方面に広がっていくものと予想され、企業の設備投資意欲については一層の冷え込みが懸念されます。原油・原材料価格の状況は8月以降下落に転じているものの、当面厳しい事業環境が続いていくことは間違いありません。

その中で私たちは、上半期時点で前期以上の好調を示している受注実績を売上につなげつつ、従来取り組んできたコストダウンおよび生産性向上施策をさらに推進していきます。また、引き続き製品開発による競争力強化に努め、収益の維持・拡大を目指してまいります。

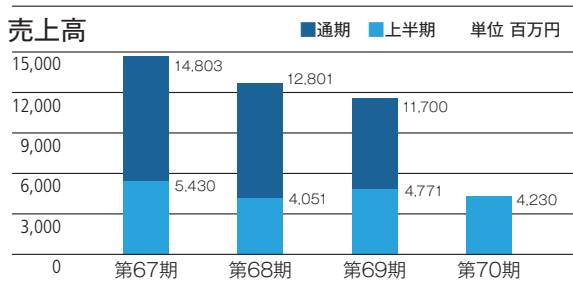
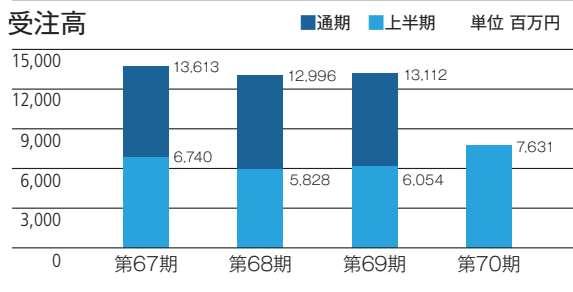
通期の連結業績については、売上高24,000百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益420百万円（同8.3%減）、経常利益330百万円（同15.0%減）、当期純利益190百万円（同59.7%減）を見込んでいます。なお、今回の中間配当については、前期の中間配当と同様に実施を見送らせていただきましたが、期末配当については、1株当たり4円を計画しております。

エンジニアリング事業部門

エンジニアリング事業では、食品製造および流通、化学、機械などの業界をターゲットに、冷熱・環境エンジニアリング（低温物流、食品加工、環境試験、製造工場プロセスなど）の設計から製作、施工、保守サービスまでを提供。とりわけ、脱フロン化の推進など環境保全・省エネ関連の技術力を活かした製品開発を通じて、広く社会に貢献し、高い評価をいただいています。



売上高
4,230百万円
売上高
構成比率 **46.1%**



上半期の事業概況

当上半期における主な納入実績としては、食品凍結装置、ビール工場向け炭酸ガス液化回収設備、低温物流向け低温設備、自動車業界向け環境試験装置、半導体工場向け

クリーンルームなどが挙げられます。

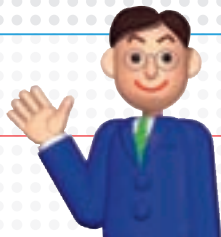
受注面では、自動車メーカーの研究施設向けに大型環境試験設備を受注した他、北海道内漁協殿向けに製氷設備および国内最大級の貯氷設備を受注するなど、順調に推移しました。また、海外の受注拡大に向けて、中国冷凍機メーカーとの連携強化を引き続き推進しました。

製品開発面では、CO₂/NH₃自然冷媒システム「C-LTS」シリーズの新製品として、「インバーター駆動NH₃半密閉圧縮機搭載型」や初期投資なしで導入できる「TENシステム」、さらにカーボンオフセット付き製品の投入を行いました。

しかしながら、大型物件の一部の売上時期が下半期にずれ込んだことにより、当上半期におけるエンジニアリング事業の業績は、売上高4,230百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失258百万円（前年同期は156百万円の損失）となりました。

FOCUS!

エンジニアリング事業部門



CO₂/NH₃
自然冷媒システム

「C-LTS」 シリーズ

「C-LTS」シリーズは、東洋製作所が提案する「環境に優しい冷熱源システム」です。オゾン層の保護と地球温暖化抑制のために、完全自然冷媒化を目指して開発。アンモニア (NH₃) と炭酸ガス (CO₂) による自然冷媒の新しい組み合わせによって、これを実現しました。

炭酸ガスの使用によって、従来のフロン系冷媒よりも熱伝導率において10～20%も優れ、なおかつ冷凍サイクルに油を必要としないため、油混入による冷却器の伝熱性低下がありません。また、炭酸ガスは単位ガス流量当たりの冷凍能力が大きく、機器・配管の大幅なダウンサイズが可能です。

こうした省スペース・省エネ効果やメンテナンス費用の削減効果に加えて、人および製品に対する安全性の確保も「C-LTS」シリーズの大きな特長です。負荷側に供給する炭酸ガスは無害。アンモニアは充填量を最小にとどめ、機械・ユニット内に閉じ込めています。



「C-LTS」シリーズは、当社従来機に比べてCO₂の排出量を大幅に削減しています。

例えば3,000トン冷蔵庫（庫内マイナス25度）に対応する冷凍設備として、従来の「代替フロン冷凍設備」を使用した場合の年間CO₂排出量は232,200kg CO₂/年。

東洋製作所だから
もっとエコ。

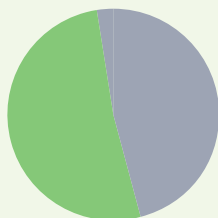


これに対し「C-LTS自然冷媒冷凍設備」を使用した場合の年間CO₂排出量は、199,600kgCO₂/年。その差は32,600kgCO₂/年となり、これは実に、杉の木2,300本が年間に吸収するCO₂量に相当するのです。

(いずれも当社計算根拠によるもので、設置条件・台数等により変わります。)

機器事業部門

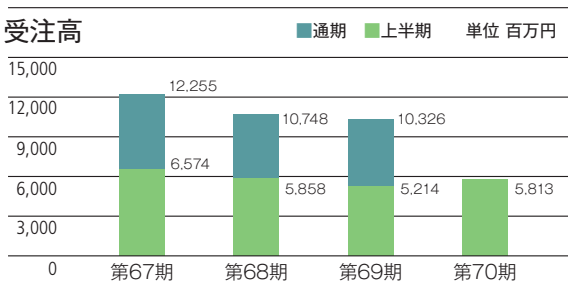
機器事業では、主にビルおよび工場向けに、空調機器や冷媒機器類の製造販売を手掛けています。さらに据付試運転はもちろんのこと、改修や保守まで、お客様にとって快適な環境を生み出し、維持するために必要なサービスをワンストップで提供。全国に展開している販売・サービス網は、その幅広い品揃えと高度な技術力によって、厚い信頼をいただいています。



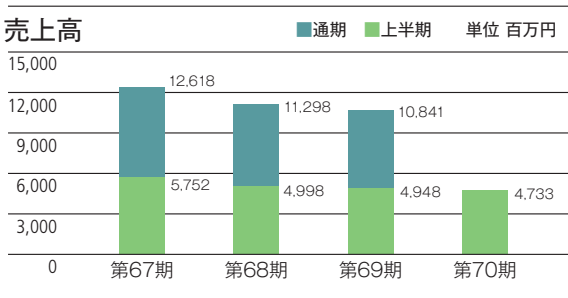
売上高
4,733百万円

売上高
構成比率 **51.6%**

受注高



売上高



上半期の 事業概況

当上半期における空調機器業界は、価格競争が激化する一方、昨年来の鋼材価格の高止まりによって収益の圧迫を受けるなど、非常に厳しい状況が続きました。

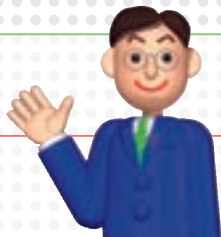
しかしながら地球温暖化対策や省エネ関連のニーズは、依然として拡大傾向にあり、当社グループはこれを積極的に取り込むべく、環境対応製品として新たに開発した直膨エアハン「ダイレクトX」や、次世代型空調機「新セーブ王」などの新製品の拡販に注力しました。

社内体制面では、前期から導入したカンパニー制度をベースに、営業から設計、製造、販売、サービスまでの一貫体制強化の取り組みを継続しました。これにより、営業活動の効率化、設計改善に向けた標準化・共通化、生産性の向上などを図ると同時に、サービス技術力の向上や協力会社の育成活用などを実施し、顧客満足度アップに努めてきました。

その結果、当上半期における機器事業の業績は、売上高4,733百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益191百万円（前年同期は1百万円）となり、利益面での改善を果たすことができました。

FOCUS!

機器事業部門



次世代型空調機 「新セーブ王」 シリーズ

「新セーブ王」は、高効率・省エネルギー・省メンテナンスを生み出すドライブユニット内蔵型ファンモータを搭載したエアハンドリングユニット。送風動力を最大31.1%削減（当社従来型THSとの比較）できるコンパクト型空調機です。ファンモータ以外にも、環境により優しく工夫されたさまざまな仕様を備えており、優れた環境保全効果を提供する次世代型空調機として、オフィスビルや病院、工場、ショッピングセンターをはじめとする各施設の新設やリニューアルにご利用いただいています。



「新セーブ王」シリーズによる環境への優しさは、運転性能面だけではありません。外板および骨格にガルバリウム鋼板を採用することで、溶接レス・塗装レスを実現しています。

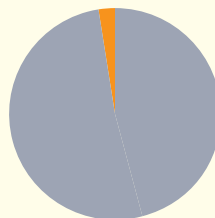
東洋製作所だから
もっとエコ。



これも重要な環境負荷の低減をもたらします。さまざまな角度から、地球環境の保全に取り組む東洋製作所のものづくりに、今後ご注目ください。

その他事業部門

その他事業では、人材派遣、損害保険代理店業務および福利・厚生サービスなどの業務を行っています。当上半期の業績は、売上高206百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益5百万円（同27.0%増）となりました。



売上高
206百万円

売上高
構成比率 **2.3%**

（注）部門別事業の概況に記載している全社売上高には、内部取引339百万円が含まれており、連結損益計算書の売上高とは一致していません。

01

環境総合展2008

本年6月19日(木)から21日(土)の3日間、北海道洞爺湖サミットを記念して「環境総合展2008」が札幌ドームで開催されました。東洋製作所は「自然冷媒を使用した冷凍設備(C-LTS)」と「排熱・地中熱利用システム(熱エネルギーマネジメントシステム)」を紹介し、多数の来場者の関心を集めました。



02

エネルギーソリューション&蓄熱フェア2008

本年7月23日(水)から25日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて東京電力(株)主催による「エネルギーソリューション&蓄熱フェア2008」が開催されました。当社は「新セーブ王」の実機を出展いたしました。本機はECファンモータを採用し、地球環境に非常に優しい次世代型空調機です。おかげさまで当社ブースには昨年のおよそ2倍近くの方が立ち寄り、説明員の説明に耳を傾け、出展機を間近にご覧になっておられました。



03

国際物流総合展2008

本年9月9日(火)から12日(金)の4日間、「未来を創造するロジスティックイノベーション」～人と環境にやさしい物流システム～をコンセプトに「国際物流総合展2008」が東京ビッグサイトで開催されました。今回の展示会では、初披露となったC-LTSシリーズの最新式実機や「Mr. エコ スチーム」(低温型)実機への積極的な質問等が寄せられ、関心の深さと手ごたえを感じる展示会となりました。



展示会場の様子



テレビ取材を受ける様子

東洋製作所の 技術で楽しむ

Vol.01

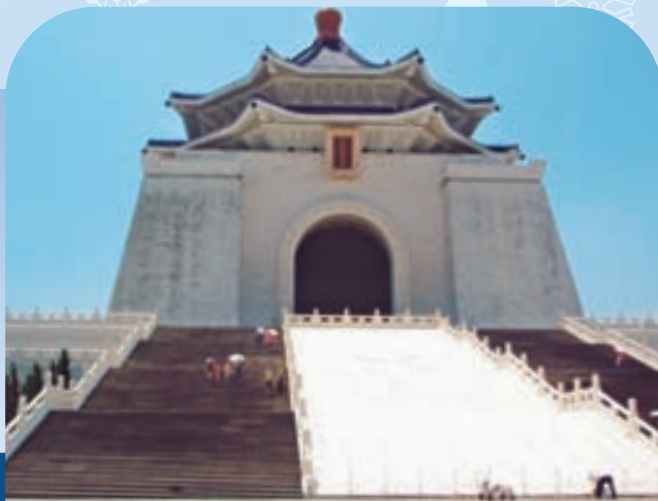


台湾で展示された冷凍ユカギルマンモス

冷凍ユカギルマンモス 台湾でも大人気！

2005年愛知万博では冷凍ユカギルマンモス展示設備に当社の「無風輻射間接冷却設備」が採用され、冷凍ユカギルマンモスをたくさんの入場者に見ていただきました。冷凍ユカギルマンモスは愛知万博の後「フジテレビ」に始まり国内3箇所で開催され、ロシアに帰って行きました。

今年7月11日より台湾新聞社の主催で台北「中正記念堂」で公開されました。この展示設備の施工には、当社の海外子会社である東洋空調工程股份有限公司が担当しました。台湾でもマンモスは大人気！連日1万人前後の入場者がありました。保存状態の良い冷凍ユカギルマンモスを見て多くの人が1万8,000年前に思いを馳せた展示会は11月4日、無事終了しました。



中正記念堂

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第70期第2四半期 平成20年9月30日現在	第69期 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,414	15,979
固定資産	3,531	3,803
資産合計	18,946	19,783
負債の部		
流動負債	8,520	9,671
固定負債	3,892	3,382
負債合計	12,412	13,054
純資産の部		
株主資本	6,179	6,290
資本金	2,334	2,334
資本剰余金	1,470	1,470
利益剰余金	2,376	2,488
自己株式	△2	△2
評価・換算差額等	342	421
少数株主持分	11	16
純資産合計	6,533	6,729
負債及び純資産合計	18,946	19,783

連結損益計算書

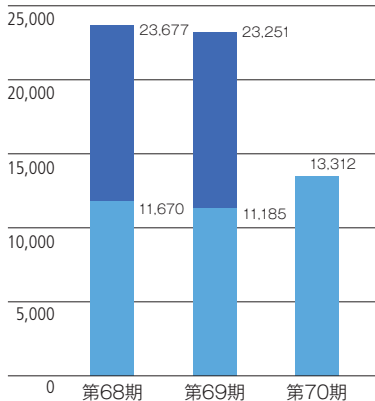
(単位:百万円)

科目	第70期第2四半期(累計) 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第69期中間期(参考) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	8,829	9,637
売上原価	7,203	8,116
売上総利益	1,626	1,520
販売費及び一般管理費	1,688	1,670
営業損失(△)	△61	△149
営業外収益	53	40
営業外費用	47	35
経常損失(△)	△55	△144
特別利益	—	475
税金等調整前純利益又は 税金等調整前純損失(△)	△55	330
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	△47	3
少数株主利益	△2	0
純利益又は純損失(△)	△22	309

受注高

(単位:百万円)

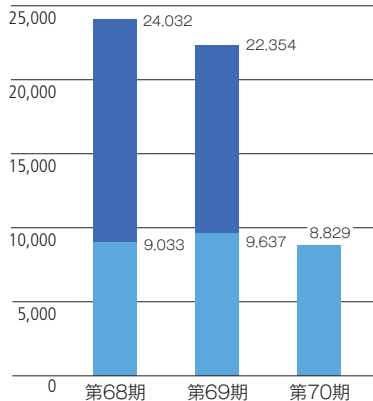
■通期 ■上半期



売上高

(単位:百万円)

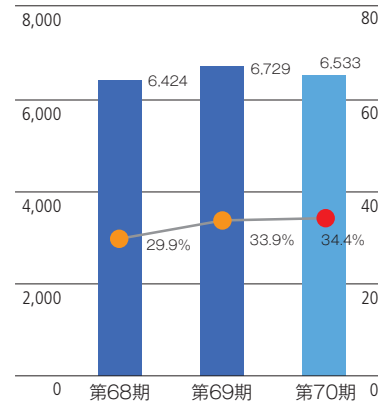
■通期 ■上半期



純資産・自己資本比率

(単位:百万円)

■純資産 ■自己資本比率
■通期 ●通期
■上半期 ●上半期



単体財務諸表(要旨)

会社の概要・株式の概況

貸借対照表		(単位:百万円)	
科目	第70期第2四半期 平成20年9月30日現在	第69期 平成20年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	15,097	15,517	
固定資産	3,628	3,904	
資産合計	18,726	19,422	
負債の部			
流動負債	8,374	9,432	
固定負債	3,892	3,382	
負債合計	12,267	12,814	
純資産の部			
株主資本	6,113	6,187	
資本金	2,334	2,334	
資本剰余金	1,470	1,470	
利益剰余金	2,311	2,384	
自己株式	△2	△2	
評価・換算差額等	344	420	
純資産合計	6,458	6,607	
負債及び純資産合計	18,726	19,422	

損益計算書		(単位:百万円)	
科目	第70期第2四半期(累計) 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第69期中間期(参考) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	
売上高	8,693	9,341	
売上原価	7,241	7,981	
売上総利益	1,451	1,359	
販売費及び一般管理費	1,497	1,510	
営業損失(△)	△46	△151	
営業外収益	73	51	
営業外費用	46	34	
経常損失(△)	△19	△134	
特別利益	—	475	
税引前純利益又は 税引前純損失(△)	△19	340	
法人税、住民税及び事業税	13	13	
法人税等調整額	△49	—	
純利益	16	327	

会社概要 平成20年9月30日現在

社名	株式会社東洋製作所 TOYO ENGINEERING WORKS. LTD.
設立	昭和27年2月16日
資本金	23億34百万円
本社所在地	東京都品川区東品川四丁目11番34号
従業員数	731名(連結)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第2部
証券コード	6443
会計監査人	新日本有限責任監査法人
関連会社	TOYO CR SDN. BHD.、株式会社トーマス、 東洋エキスパート株式会社、 東洋空調工程股份有限公司

経営体制 平成20年9月30日現在

代表取締役社長	服部 豊	
常務取締役 常務執行役員	永野 祐二	機器・大形冷機サービスカンパニー長兼機器事業本部長
常務取締役 常務執行役員	永塚 史人	管理部門・資材部担当
取締役	東間 清信	三菱重工業株式会社 取締役執行役員
取締役	三田 勇太郎	株式会社ニチレイ 取締役常務執行役員
取締役 執行役員	山本 泰嗣	機器・大形冷機サービスカンパニー 副カンパニー長兼サービス事業本部長
取締役 執行役員	吉井 一	エンジニアリングカンパニー長
監査役	小丸丸俊美	常勤
監査役	中本 興伸	三菱重工業株式会社 監査役
監査役	小口 正範	三菱重工業株式会社 資金部長
※上記以外、取締役を兼任しない執行役員は次のとおりです。		
執行役員	赤間 正伸	エンジニアリングカンパニー 副カンパニー長
執行役員	久良知 健	機器・大形冷機サービスカンパニー 機器事業本部副本部長兼大和工場長
執行役員	小澤 進	関西支社長

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	22,296,204株
株主数	1,981名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	8,295	37.2
株式会社ニチレイ	2,465	11.1

(注) 発行済株式総数の10分の1以上の数の株式を有する大株主のみの表示です。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
同總會権利行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下の電話番号ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所
公告の方法

東京証券取引所
電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

株券電子化実施に伴うお知らせ

1. 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日(月)に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

(3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

(4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきましては、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

(1) 株券保管振替制度をご利用でない単元未満株式

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

(2) 株券保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わない場合があります。具体的な日程につきましては、各お取引の証券会社にお問い合わせください。

3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えるうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

株券電子化に関するお問い合わせ

URL : <http://www.kessaicenter.com/>

「株券電子化」なんでも相談窓口

☎ 0120-77-0915 (平日・土曜/9:00~17:00)

株式会社東洋製作所

〒140-8635 東京都品川区東品川四丁目11番34号
ホームページ : <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>
TEL 03-3474-2126 FAX 03-3474-2139



この報告書は、環境に優しい大豆インキを使用して印刷しております。